

第18回九州小学生ゴルフ選手権大会

兼 第16回全国小学生ゴルフ春季大会 九州予選

開催日：2022年8月19日(金)
開催コース：小郡カンツリー倶楽部

2019年度日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則と、この競技の条件・ローカルルールを適用する。本書に記載ない事項や追加変更ある場合は、競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ローカルルール

- アウトオブバウンズ（OB）の境界は白杭、レッドペナルティーエリアの境界は赤杭、修理地は青杭または白線をもってその縁を定める。ただし、現にプレーするホールの白杭を結ぶ線を越えて他のコース上の区域に止まった球はアウトオブバウンズの球みなす。
- 打球が黄杭の線を越えて他のホールに止まった場合、1打付加してホールに近づかず、現にプレーしているホールのジェネラルエリア内へドロップしなければならない。
- ジェネラルエリアにある枕木、カート道、排水溝、排水施設、マンホール、樹木の支柱、防球ネットは動かせない障害物とする。
- 西コース8番ホールにて、ボールが左側OBゾーンを越えた場合はOBとする。
- 特設ティーのあるホールでOBの場合は前方の特設ティーよりプレーすること。

<特設ティーのあるホール> プレーイング4 【西コース】6番、7番、8番 【東コース】6番

- 東コース2番、8番、9番、西コース7番、南6番にて第1打が池にボールが入った場合、前方のドロップゾーンからプレーイング3でプレーすること。
- 現にプレーしているホール以外のグリーンに球が乗った時はホールに近づかず、その外に罰なしに1クラブ・レンジス以内にドロップしなければならない。
- 規則5. 5 bは次のように修正される：
2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない：
 - 終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。
 - 終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。※ハーフ（休憩）時のコース内のパター練習場は使用可能とする。
- 規則5. 2 bは次のように修正される：プレーヤーはラウンド前やラウンドとラウンドの間にコース上で練習してはならない。
- 危険な状況のためのプレーの中止は、1回の長いサイレンによって伝えられる。
その他すべての中止は、3回の短いサイレンによって伝えられる。どちらの場合も、プレーの再開は1回の長いサイレンによって伝えられる。（規則5. 7 b参照。）
- 競技の短縮：委員会は、コースの状態が適正なるプレー不可能と判断したときは、競技規定に定めてあるホール数を短縮することができる。
- 使用ティーマーカー：コンペティションマークを使用する。

【注意事項】

- 競技の条件またはローカルルールに追加、変更のあるときは、スタートに掲示して告示する。
- 練習は指定練習場にて行い、練習場においては備付けの球を使用し、スタートの前の練習は1人30球を限度とする。
- プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないように注意すること。なお、プレーの進行を不当に遅らせた場合はペナルティーを課す。
- スタート時刻の30分前にはクラブハウス内で大会受付とコースフロント受付を済ませ、スタート時刻10分前には必ずティーアイングエリア周辺で待機すること。但し、欠席者がいたときは組合せを変更する場合がある。
- プレー中はディポットの修復とバンカーで作ったくぼみ、足跡の修復を必ず行うこと。
- グリーン保護のため、メタルスパイクシューズおよびタウン用シューズの使用を禁止する。

大会競技委員長